

横田基地日米友好祭における米陸軍による降下展示について（要請）

令和8年5月13日、防衛省北関東防衛局から、「5月16日及び17日に横田基地で開催されます第50回日米友好祭の催しの一環として、横田基地内着陸帯において米陸軍による降下展示が行われる予定である」との情報提供があった。

このことに関しては、昨年11月にも、降下訓練における場外への降着やパラシュートの落下が発生したことを受け、パラシュート降下に対する周辺住民の不安は大きくなっている。また、横田基地は人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は日頃から、航空機の騒音に悩まされ続けている。

については、周辺住民の平穏な生活及び安全を確保する観点から、次のことを要請する。

- 1 昨年11月に発生した場外降着及びパラシュート落下の原因究明と、再発防止策を講ずるまでは、降下展示を行わないこと。
- 2 航空機の曲技飛行とも見てとれる危険な飛行行為を行わないようにするとともに、航空機騒音を最小限に止めること。

令和8年5月14日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニー大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	山崎 栄

幹事 立川市長 酒井大史